



# まつかぜ

発行者  
平和学園小学校同窓会  
茅ヶ崎市富士見町5-2

発行日  
平成27(2015)年9月30日

編集・印刷  
サイン印刷

題字  
学園長 中山洋司

## 創立70周年に向けて

平和学園小学校同窓会会長 倉澤 条太

平和学園は来年2016年に創立70周年を迎えます。60周年では、新校舎を落成し、1999年に改称したアレセア湘南中学校・アレセア湘南高等学校の名称を周知するため、様々な記念行事を行いました。それから10年が経過し、アレセア

湘南の名前は地域社会に徐々に浸透し、中高の生徒数も上昇してきました。

70周年の節目の年に幼・小・中・高一貫の「小さな平和から大きな平和へ」を掲げたグローバル教育を基本方針とし、「平和を作り出す人々は幸いである」という学園聖句を覚え、そして創立者の賀川先生・村島先生が目指した世界平和の実現に向けて、特に英語習得に力点を置いた教育を進めるとのことです。学園・同窓会の中では、幼・小の名称もアレセア湘南に統一し、名実ともに一貫校にしたらという議論も起こっています。

今年度の小学校の児童数は定員27名に対して、1～4年生が15名以下、5、6年生が25名以下で経営的に大変厳しい状況となりました。是非、平和学園小学校の新たな教育方針を周囲の方々に知っていただき、生徒数増加につながるようご尽力ください。

なお同窓会では70周年記念同窓会として大懇親会を計画しています。来春「まつかぜ」70周年記念号を発行し、その中で詳細をお知らせします。懐かしい先生や学友と再会し、ともに70周年を祝いましょう。

## 温かい平和学園

平和学園小学校校長 橘 明子

少人数の小さな学校ではあるが、希望を持って2015年度がスタートした。平和学園小学校を支え応援をして下さる方は多く、また温かく協力的な同窓生の皆さんの力は、私たちのエネルギーである。創立者の思いを大切に考えている小学校の教育

は、昔も今も変わらない。それは、本当に温かい教育であり、心の内側がしっかりと育まれていくことを大切にしていることだと思う。

心の内側はどのような経験をするか育っていくものだろうか。小学生の日々の歩みは勿論のことだが、毎朝の礼拝は心の成長につながる大切なもの。いつの時代でも礼拝を大切に考えて小学校の教育を作ってきた。

また、平和学園の一貫教育の中で、心を育む教育と学校教育の質を高める教育が学園全体で検討されてきた。それがグローバル教育（英語を柱とした）である。小学校でも昨年度から、子どもたちは朝の5分間英語に触れる時間を経験している。初めは、何となく居心地の悪さを覚えていた子どもたちも、今ではあまり抵抗なく過ごしているように思える。特に低学年は、英語と音楽を組み合わせて楽しいプログラムを準備している。私たちは、子どもたちの生活の中に自然に英語と触れ合うことが子どもたちの力になると期待して進めているのである。

平和学園の創立者が世界に目を向けて様々な事を考え、私たちに残して下さったことは、しっかりと受け継いでいきたいと思う。特に「4つの平和」を考えた時、まずは自らの心の内側に問うことから始めたい。今を生きる子どもたちにも、巣立って行った子どもたちにも「真の平和を作り出す人」となって、大きく羽ばたいてほしいと願っている。

## 同窓会がクラス会の幹事代行をします!

巷では幹事代行サービスがもてはやされているとか。

長いこと会わないけれど、みんなどうしてるだろう…  
クラス会で会ってみたいけど、幹事をやるのは面倒…  
そもそも住所もわからないし…

というような気持ちを同窓会がすくい上げて、クラス会開催を応援します。

人生、クラス会や同窓会がなくてもやっていけますが、あったほうが楽しい!

クラス会をやってみたい方、同窓会事務局にご一報ください。発案者と相談して日時を決め、あとの会場選び、案内状発送、出欠取りまとめは同窓会事務局が無料で行います。

## 平和学園 パイプオルガン講座

### パイプオルガンを奏でてみませんか?

平和学園・アレセア湘南校友会では2015年度5月に「平和学園パイプオルガン講座」をスタートしました。講師は昨年12月まで5回にわたり、クリスマス・チャリティー・パイプオルガン・コンサートを引き受けて下さった後藤香織さんと、第1期生9名が楽しくレッスンをしています。来年度も2期生を募集します。

概要  
月1回45分のレッスン(全10回)  
受講料: レッスン1期10回分45,000円  
対象: パッパ・インヴェンション程度の演奏能力のある方

講座のブログ: <http://organ4heiva.blog.fc2.com/>



# 4年生の米作り

## 《2014年度 農業体験学習》お手伝い記録より

農業体験学習「米作り」は1949年卒業の岡正司さんと奥様の敦子さんのご指導ご援助の下、昨年度で11回になりました。同窓会では昨年のお餅つきからお手伝いをさせて頂き、授業の映像記録を撮らせて頂きました。以下は昨年度の農業体験学習の映像からの写真です。



1. 田植え (2014年6月25日)



2. 稲の花観察会 (9月9日)



3. 稲刈り 天日干し (10月20日)



4. お餅つき (2015年1月20日)



鉢あらい

2014年度の『米作り』も無事終了致しました。岡さん敦子さんそして先生方もお疲れ様 有難う御座いました。今年度からの農業体験学習は岡さんのご高齢のこともあり、田んぼではなく小学校校庭内での『米作り』となるそうですが、命の学習、岡さん敦子さんの教えを大切に学習して下さい。同窓会も応援いたします。

以下は昨年の小学校広報94号に掲載の「昨年の生徒さんのお母さんのレポート手記の抜粋です。」

いつも労を惜みず畑仕事をしている岡さんと敦子さん。年末の田のトラクター耕から始まり、田畑の管理、夏の日照りや、雑草取りに病害虫駆除。秋の長雨と台風の対策等々。たとえ、お天道様が出不い 日があっても、畑に行かない日は無い。農業のご苦労を一手に担い、小学校の田畑の管理と、素人を指導する難しさに、私達はただ頭を下げる事しか出来ません。

今回、岡さんと敦子さんから農業体験学習の経緯や、いろいろなお話しをお伺いしました。

「始まりは、故荒井 巖元校長先生からの依頼でした。『餅米を植えて下さい。4年生に総合学習として、田植えから稲刈り、脱穀をして、最後に餅つきをして、皆に振る舞う。この一貫作業を通して、子ども達に自然と食育の大切さを伝えたいのです。』と、頼まれました。今では一期生が大学1年生(現在3年生)になりました。小学校の行事などで、卒業生と再会出来るのが嬉しいですよ。」と、話して下さいました。

敦子さんは「毎年、子ども達との交流がとても楽しみです。子ども達を通してそのご両親や、中にはご祖母の方ともお知り合いになれば、年を重ねるごとに末広がりに増えるご縁が喜びです。」そして「少しでも平和学園小学校のお役に立ち、卒業生として、これからも盛り立てて行きたい。」と語る岡さん。「今では4年生と餅つきをしないと、私のお正月が来ないのです。」と言うほど平和学園愛に溢れています。

お話しを伺い、宮沢賢治の『雨二毛負ケズ』を思い出しました。創立者の理事長 賀川 豊彦先生と校長村島帰之先生の訓え「愛と平和(奉仕の心)」そのものの岡さんと敦子さんに私達は深く感謝します。どうぞ いつまでもお元気でいらして下さい。



## 五十嵐礼子先生を偲んで

平和学園の草創期から長い間(1948 - 1980年 在職)音楽を教えて下さった五十嵐礼子先生が召天されました。

先生は茶色系のお召し物を好まれ、焦茶色のタイトスカートにクリーム色のブラウスというようなお姿が印象的で、優雅な物腰の中に凛とした気品が溢れ、子供心に憧れたものでした。在職期後半は中高のみを担当されましたが、平和学園草創期の一体感のひとつの象徴だった方ではないでしょうか。

### 吉田 吉男(旧姓服部、S 24、中高4回生、校友会初代会長、元平和学園理事)

学生時代はもとより、卒業して何年たっても五十嵐礼子先生の人気は高く、近況などを卒業生からよく訊かれたものである。それは中高の音楽の授業が楽しかった以上に、先生の人柄に生徒が惹かれたからだと思う。

五十嵐先生と気軽に話ができるようになったのは、高1の終わり頃である。「讚美歌のコーラスに男子が足りないのでは入らない？」と声をかけられ、高2より『芸術』の選択を東門先生の絵画から音楽に変更した。先生のピアノに合わせ、グロリアなどクリスマス会の讚美歌等を習ったが、混声四部できれいにハモると気分爽快であった。賀川村島記念講堂のロビーにグランドピアノが置かれている。五十嵐先生が晩年、特養の『鶴嶺』に入居される時「生徒が自由に弾いてほしい」と望まれ、校友会を通して学園に寄贈されたピアノである。夏村先生が学園長の時であり、運送業者を伴い搬きに行ったのは11回生の藤野継基君(編集注)、当時は学園事務局主管を勤めていた。

さて、五十嵐先生の思い出は枚挙にいとまがないが、先生は、実は僕の進路、いや人生を決めて下さったご恩のある方なのであ



る。高校卒業を間近に控えた2月頃「あなたこれからどうするの?」と真剣に心配されて、株式会社白洋舎を紹介して下さった。中学2年の時に父を、高2で母を亡くし、経済的に進学はできないのに踏ん切りがつかず、卒業して寮を出れば路頭に迷うのは必然であった。当時は就職難の時代である。

五十嵐先生のご尊父五十嵐健治氏は白洋舎の創業者で、日本でドライクリーニングを初めて研究開発された方である。氏は熱心なクリスチャンで、創業百周年を迎える白洋舎の経営の根幹は、今でもキリスト教である。大阪支店に就職が決まり、ご報告に校門前の村島先生のお宅に伺った。ご病床の先生は「そう、白洋舎か、将来役員になれるといいね」と、しず糸奥様と励まして下さった。爾来、54歳になってそれが成就した時、すぐ脳裏に浮かんだのは村島先生のお言葉と、救って頂いた五十嵐先生への感謝であった。

五十嵐先生は去る1月23日、キリスト教徒として99歳の生涯を終え、天に召された。1月26日の前夜式に岡崎先生、翌日の告別式に飯野先生、両日ともに横山涼子先生がお見えになり、また古い卒業生十数名がお別れに参集した。しかしながら現役の学園関係者の姿が見えず、卒業生も少なかったのは、まことに残念であった。後で分かったことだが、学校に知らせが無かったそうで、自分を含めて連絡の不備を反省している。

大変お世話になった五十嵐先生には、いくら感謝してもしきれぬものではないのだが、心からお礼を申し上げてペンを置きたい。  
編集注：S 31 卒、中 11 回生

### 岡崎 晃 (1957 - 1974 年平和学園在職)

1957年春、私は小学校で英語を教えるバイトを始めた。本職は牧師だったので礼拝には必ず参加し、デカイ声で讃美歌を歌った。当然ピアノを弾いておられた五十嵐先生と接点が出来た。初対面から何故か旧知のような気安さでお交わりが始まった(後から考えると色々伏線があったのだけれど…)。

翌年、ひよんなことから、大塚秀雄先生に「宗教主任をせよ」と命じられ、聖書の先生になった。礼子先生とは、仕事上一層近くなった。そればかりか、自転車通勤をしていたので、先生のお宅に途中下車することが多くなった。「白洋舎」の創立者であるお父上、健治先生にしばしばお目にかかることが出来、聖書について、又信仰について、実に多くのことを学ばせて頂いた。

次の年には、私の手下になった高2の男子3人と高1の女子3人、それに横山哲夫先生と卒業生の東和子さん(7回生)(編集注)が、夕方から集って、讃美歌を合唱する時を持つようになった。月に1回ぐらいだったろうか。もちろん楽しみは歌う前のご馳走だった。「日に日に」を歌おう」とリクエストする子がいて、讃美歌508番、535番など、飽きもせず歌ったものである。

村島先生の肝いりで「ドルカス(キリスト教青年会)」が出来てからは、先生の枕元や窓の下から讃美歌を歌ってお慰めした。礼子先生は必ずご一緒して下さいました。60年賀川先生のご葬儀が青山学院で行われた時参列したのも五十嵐先生と私そしてドルカスの有志たちだった。

私の宗教主任としての働きは、礼子先生なしにはあり得なかった。毎日の礼拝だけでなく、小・中・高の卒業式、入学式、又各学期の始業式、終業式はみな礼拝形式で行われたので、ピアノの前に礼子先生が居られないことは無かった。ご体調は万全ではなかった筈なのに、先生が居られなくて困ったという覚えはない。たいした打ち合せもなしに、壇上から「讃美歌～番を歌います」と言えば、ちゃんと弾いて下さった。

こうして17年間も助けて頂いたのに、そして文字通り公私にわたりあんなにお世話になったのに、私が突然平和学園をやめたからは、それきりになってしまった。年賀状がしばらく続いただけで…。何という恩知らずか、礼子先生ほんとにご免下さい。  
編集注：S 27 卒、中高7回生

## 大石茂生さんを偲んで

小学校同窓会黎明期に会長を務めて下さった大石茂生さん(S 25)が亡くられました。

お寄せいただいた追悼文に同窓会への尽力の様子が偲べれます。

### 乾 桂二 (旧姓：加藤、S 30 卒、元校友会会長、元平和学園理事)

大石先輩の訃報をお聞きして、早すぎたご他界をたいへんに残念に思っております。

私が6年間の海外生活の末に1970年に帰国し、懐かしい平和学園に顔を出した時のことでした。飯野先生や横山先生にお会いすると「また同窓会やってよ」と促されました。それというのも、30年卒の私が高校生頃に1級下の高垣徹蔵君や長尾幸子さん達と一緒に、まだ無名の尾崎紀世彦君と楽団を呼び、横浜で「平和学園小学校同窓会」を開催したことがあったからです。

私は帰国したばかりで、その頃は忙しくあまり熱心に動けなかったのですが、なにしろ横山先生は同窓会を「開け、開け!」と言い続けられるので、確か25年卒の中島巖さん、27年卒の鮑玉琴さん、28年卒の東安彦さん達と世話人会を開催しました。そこで中島さんが「同級の大石君は会長に向いている。彼に決まった。と言えやってくる!」と言って下さったのです。横山先生から大石さんに連絡をして頂き、我々で各学年の世話人を勝手に選び、大石さんを中心に世話人会を開催しました。大石先輩は「欠席裁判」にもかかわらず「快く…」会長を引き受けて下さいました。大石さんは中島さんが言われるように、本当に会長に相応しい方で、人の上に立つ方はこのような人だ、というのを絵に描いたような方でした。(株)大茂という会社を経営しておられて、たいへんに忙しいのに、その貴重な時間、お金、そして力をおしみなく注いで下さいました。現在のこの同窓会がしっかりと活動出来るのは大石さんが礎を築いてくださったお陰です。

各卒業年の世話人が頻りに集まるのが難しいということで、代表世話人を選定して会の運営をする事となりました。初めの頃は1～2か月に1度、大石さんの母校の慶応大学の卒業生が運営する「三田クラブ(帝国ホテル内)」などに集まり話し合い、まずは名簿作りが欠かせないということになりました。予算がない中、何をやるにもお金がかかります。三田クラブでの会合の時は何時も大石会長の奢りだったと記憶しています。当時の代表世話人のメンバーは、26、7年卒の鮑さん姉妹、27年卒の大林さん、先出の東さん、伊藤さん(S34)、32年卒の和田扶実子さんなどで皆さん大変な能力の持ち主でした。特筆すべきは大林俊雄先輩で、彼は大石会長の一語で、なんとワープロを10台も寄付して下さいました。大石さんは中島さんが世の中に始まった頃で、一般家庭はおろかオフィスにもあまり普及していませんが大変高価だったのですが、これを使ってボランティア同窓生達が名簿の打ち込みをして下さいました。

名簿を作る段階で問題になったのは、中学校のことです。平和学園中学校はその時には閉校していたのですが、大石会長始め皆が「どうせ同じ平和学園じゃないの、名簿の中に中学卒も入れてあげよう」(平和学園らしいでしょ!)ということになったのです。名簿を印刷するにはお金がかかります。会長を始めとする卒業生たちが寄付をして名簿が出来上り、改定を重ねることができました。総会も度々開催することができました。

平和学園小学校同窓会を形にして下さったのは、大石茂生先輩のご尽力の賜物であります。このことを感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

### 山口 洋一郎 (S 34 卒、現平和学園理事長、前小学校同窓会会長)

ある日突然、大石さんから私に話があるから来てほしいという連絡がありました。もう、17、8年前になると思います。出かけて行った場所は、たしか熱海のクラスメートの別荘だったと思います。そこに、大石さん、鮑さん、私は良く知らない諸先輩が沢山並んでいました。そして皆親しい仲間で和気藹々とした雰囲気でした。私だけがポツンと取り残されたような孤独感を味わったような気がします。



(4)

大石さんは、背が高く、やや顎が引けて、やさしい風貌で、親しみのある表情でにこにこしていました。

この出会いが運命の分岐点になりました。その時、大石さんから、「実は長いこと私が会長をやっていたが、そろそろ年だし世代交代が必要だから平和学園小学校同窓会の会長を引き受けてくれないか」というものでした。私は、突然の話にただ戸惑うばかりでした。それ以前は同窓会のことはほとんど知らず、確か50周年の横浜での大宴会は記憶にありましたが、どのようにしていけばよいかなどは全く分からないままに、押し付けられるように引き受けてしまいました。大石さんとはそれ以来お会いしていません。多分、先輩面して余分なことを言わない方が良いと思っていたのでしょうか。

私は、その後、私の同期の伊藤さん、岡田さん、大村さんや若い世代の人と、前にこだわらずに新たな気持ちで同窓会を運営していくことができました。大石さんの世代の中学高校まで男女共学の家庭的な雰囲気から少し変わったと思いますが、でも、このような道筋をつけていただいたのは大石さんだったと思います。その後、私も60周年記念事業を終えたところで、学校法人平和学園の理事長を仰せつかることになり、倉澤会長にバトンを渡しました。大石さんにお会いした時には全く知る由もないことでしたが。

大石さんに心から感謝をこめて、ご冥福をお祈りいたします。

## 第30回 クリスマス・チャリティー パイプオルガン・コンサート

「厳かな聖夜、心あたたまるクリスマス」

日時：2015年12月5日(土) 午後2時より

会場：平和学園 賀川村島記念講堂

出演：西尾純子氏

※ 入場無料 (先着550名まで)

## The 7<sup>th</sup> JAZZ LIVE CONCERT IN CHIGASAKI

日時：2016年5月14日(土) 午後2時より

会場：平和学園 賀川村島記念講堂

出演：尾田 悟 (アルト・サクソ)、秋満義孝 (ピアノ)、  
(予定) 猪俣 猛 (ドラムス)

※ チケットは2016年2月より発売予定

## 平和学園進路を考える会

第7回「平和学園進路を考える会」が2015年3月11日に賀川村島記念講堂で開催されました。講師は小林一さん(S36卒、一般財団法人アジアサイエンスカフェ会長)でした。「地域づくり40年」と題して、地域づくりプランナーとして関わったプロジェクトを、インターネット画像を利用して紹介し、「人と違うことをする」、「4つの趣味を持つ」、「ボランティアの勧め」、「Man for Others」等自分自身に課してきた考え方について話されました。

小学校5年から中学生徒を中心に、高校生、保護者、卒業生など多数が参加しました。

一般財団法人アジアサイエンスカフェ

ホーム・ページ：<http://www.asia.or.jp/cafe/>

## 2014年度会計報告 (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
維持会費	244,000	維持会費振込料	9,910
新卒者入会金	230,000	「まつかぜ」印刷費	189,000
バザー売上	73,574	「まつかぜ」送料	96,268
バザー出店者協力金	165,375	小学校PTAへの寄付金	100,000
預金利息	716	通信費	9,890
		印刷費	76,983
		会議費	15,707
		新卒者記念品	57,132
		消耗品雑費	5,597
		親睦活動費	9,900
		バザー一仕入等	58,501
		米作り授業支援	6,300
		校友会拠出金	20,000
		アレセイア湘南バス寄付	30,000
小計	713,665	小計	685,188
前期繰越金	3,939,287	次期繰越金	3,967,764
合計	4,652,952	合計	4,652,952

## 2016年度 児童募集

第1回入学選考 第2回入学選考  
選考日 10月20日(火) 選考日 11月10日(火)

### 転入学児童募集

随時 欠員のある学年 男女若干名を募集

### 〔公開行事〕

※運動会：10月10日 ※バザー：11月3日  
※クリスマス礼拝：12月11日 ※学習発表会：3月2日

いずれも詳細は電話でお問い合わせ下さい。  
TEL 0467-87-1662

## バザー

11月3日(火・文化の日) 11:00-14:00

気軽にお出かけください。出展(販売・展示など)希望の方も募集しています。

## 小学校同窓会への連絡

メール・アドレス：heiwagakuen@gmail.com

郵便：253-0031 茅ヶ崎市富士見町5-2

平和学園内平和学園小学校同窓会  
電話：0467-87-1662 (平和学園小学校) 同窓会への連絡がある旨お話いただければ、折り返し電話を差し上げます。

## 維持会費納入のお願い

維持会費は同封の振込用紙を利用して納入していただきますよう、お願いいたします(振込料無料)。

**1口1,000円、何口でも結構です。**

卒業後10年間は免除となりますが、発送作業の関係から、全員に振込用紙を同封しています。

## 職員動静

勝間 亜希子 (産休明け) 石上 雄一朗 (幼稚園より)

## 訃報

今城 (佐々木) 圭子 先生  
2015年4月28日没 (1956 - 1963年 在職)  
楠山 光彦 先生 (金管講師)  
2015年6月27日没 (2001 - 2010年 在職)

## 編集後記

今号は訃報が重なり、ご冥福を祈りつつの心重い編集作業となりました。

感想、意見、掲載原稿をお寄せください。クラス会の写真もぜひお寄せください。